

高校生たちの実践活動発表

IBARAKIドリーム★パスAWARD



期日 令和2年1月19日(日)

会場 駿優教育会館

プログラム

9:30

・ [予選]

12:55

・ 実践活動発表

11:20

・ 昼食 / 予選審査

15:10

・ 最終審査 / ホスターセッション

12:30

・ [決勝]開会

16:15

・ 表彰・講評



茨城県

実践活動発表チームのテーマ一覧

<p>石岡第二高等学校</p> <p>理想を現実に！ 勉強スペース&カフェ</p> <p>空き店舗を活用し、カフェや勉強スペース、ミニ図書館を開設し、多世代交流の場、地域のにぎわいの場をつくる。</p>	<p>石岡第二高等学校</p> <p>だれが「誰」を好きでもいいじゃない！！</p> <p>性的マイノリティへの差別や偏見をなくし、誰もが住みやすい社会を目指し、性的マイノリティの理解に向けたシンポジウムを開催する。</p>	<p>石岡商業高等学校</p> <p>フューチャーセンターによる 石岡活性化</p> <p>石岡市の観光客増加や活性化を目指し、空き店舗を活用し、学校で開発した商品の販売や体験型のイベントを開催する。</p>
<p>伊奈高等学校</p> <p>すまいる😊スペース ～We can make a smile～</p> <p>街の活性化や少子化対策のため、託児環境を備えた、地域の人々が気軽に集まれる場所をつくり、イベントを開催する。</p>	<p>伊奈高等学校</p> <p>“暗い夜道を安全に歩ける” 商品開発</p> <p>交通事故の減少に向け、暗い夜道でも安全に歩くことができる商品を開発する。</p>	<p>岩瀬日本大学高等学校</p> <p>ちゃりんりん</p> <p>「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の魅力度アップを図り、茨城県の魅力度アップ・観光客誘致を目指す。</p>
<p>土浦日本大学中等教育学校</p> <p>いきいき夢学校！ ～廃校を利用した 高齢者向けの学校～</p> <p>廃校を利活用し、一人暮らしや家に閉じこもりがちな高齢者の地域交流の場となる「学(楽)校」を開校する。</p>	<p>笠間市リーダーズクラブ</p> <p>お年寄りを元気にしよう！！ ～お年寄りをひとりにさせない～</p> <p>高齢者が孤立化する現代において、お年寄りを元気にするために、多世代で交流ができる場をつくり、イベントを開催する。</p>	<p>笠間市リーダーズクラブ</p> <p>「M」Fes</p> <p>若者の力で茨城を元気にするために、各地区の高校生会とともに、若者による音楽フェスを開催する。</p>
<p>波崎柳川高等学校</p> <p>神栖市の知名度UP！ 神栖弁当</p> <p>市民や観光客に、神栖市の魅力をアピールするため、神栖市の特産物を活用した弁当メニューを開発する。</p>	<p>並木中等教育学校</p> <p>あなたとしゃべりたいα</p> <p>声を発することができない祖母とのコミュニケーションツールとなる、「簡単に」「誰とでも」会話のできるアプリを開発する。</p>	<p>並木中等教育学校</p> <p>Unityを用いたスマートフォン ゲーム制作 ～Unityインターハイから起業まで～</p> <p>スマートフォン用の「低遅延のオンラインゲーム」及び「対戦型パズルゲーム」を開発する。</p>
<p>並木中等教育学校</p> <p>仕事を楽に！ ～工場の無人化プロジェクト～</p> <p>重労働を減らすため、ライントレースを活用したアプリを開発する。将来的には、工場の無人化を目指す。</p>	<p>並木中等教育学校</p> <p>自律型走行ロボットの開発 ～人手不足解消へ～</p> <p>輸送業界の人手不足解消と買い物などの荷物運搬を便利にすることを目的とし、自律型の走行ロボットを開発する。</p>	<p>並木中等教育学校</p> <p>機械学習を用いた モーショントレースシステムの開発</p> <p>モーショントレースの自動化を目指し、簡単にモーションキャプチャができるようシステムを開発する。</p>

IBARAKI ドリーム・パス事業

予測が難しく変化の激しい現代,自ら考え,自ら行動し,解決できる人財の育成が重要です。県では,高い創造意欲を持ち,リスクに対しても積極的に挑戦できるアントレプレナーシップ(起業家精神)を持った人財を育成するため,高校生たちが,それぞれの夢の実現や地域課題の解決に向けた取組を実践するIBARAKI ドリーム・パス事業を今年度から開始しました。

「夢」実現への軌跡

STEP1 対話型ワークショップ

高校生の考えや思いを引き出すスキルを身につけた大学生等が,各高等学校に出向き,高校生と対話しました。

高校生たちは,大学生等との対話をおし,地域の課題を見つけ,実現させたい「夢」を語り,解決方法を探りました。



STEP2 企画書作成

意欲がある高校生たちと大学生等が一堂に会して,チームを編成し,企画書づくりに臨みました。

高校生たちは,積極的に他校生と意見交換したり,新たな解決手段を発見したり,刺激を受けながら実行に向けたプランを作成しました。



STEP3 実践活動へ!

厳正な審査の結果,選出された15チームは,活動資金をもとに,実践活動にチャレンジ!

高校生たちは,大学生等と共に,企業やNPO,行政機関等との交渉や協力を依頼し,プランを実現するために活動しました。



審査基準

アクションの レベル	・課題の解決策をどこまで実践してきたか
主体性	・取り組みに対する本気度を評価 ・答えのない難しい課題に対して挑戦できたか
協働性	・多様な人たちと対話し、協力しながら取り組んできたか ・独りよがりではなく周囲に好影響を与え、価値を創り出してきたか
探究性	・実現したい未来に向け、問いや仮説を深め続けてきたか ・プロジェクトを通じて成長し、学びを次へ活かそうとしているか
プレゼン力	・自分たちの熱い思いや考えを観衆に分かりやすく伝えられたか

協賛企業


AEON イオンリテール株式会社

茨城トヨペット株式会社

JAグループ茨城
 耕そう、大地と地域のみらい。
 
HITACHI
 Inspire the Next


Focus Systems
Yakult 茨城県ヤクルト協会

私たちはIBARAKI ドリーム・パス事業を応援しています。

主 催
茨城県教育委員会
企画・運営
認定NPO法人カタリバ

【お問合せ先】茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 振興担当

〒310-8588水戸市笠原町978番6 / TEL(029)301-5318 / Mail shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp